

① - 3 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	福祉保育学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2730 単位時間 (保育コース)	1920 時間	480 時間	630 時間	0 時間	510 時間
		3540 単位時間 (社会福祉コース)	3540 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		19 人	0 人	6 人	29 人	35 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

保育に関する専門知識を学びながら、保育所・幼稚園・養護施設等の実習を通して実践的技量を身に付け、子どもの福祉と教育に携わる保育士（幼稚園教諭）を養成する。更に、福祉に関する適切な助言・援助を行う専門職である社会福祉士の受験資格（要実務経験 1 年）を取得できるようにする。

1 年次：基礎的な知識・技術の習得、2 年次：実習で現場経験を積む、3 年次：現場で必要な実践的技術の習得

成績評価の基準・方法

（概要）

学生が履修した授業科目の成績の評価及びグレード・ポイント（評価により与えられる数値。以下「G P」という。）は、下記の表のとおりとする。

【表】

評価		得点	G P
A	基準を超えて優秀である	8 0 点以上	3. 0
B	基準に十分達している	7 0 ～ 7 9 点	2. 0
C	単位を認める最低限の基準に達している	6 0 ～ 6 9 点	1. 0
D	基準を下回っている（不合格）	5 9 点以下	0. 0

（G P A の算出）

G P A は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。

$$G P A = \frac{(G P \times \text{単位数}) \text{ の総和 }}{\text{履修科目の総単位数}}$$

卒業・進級の認定基準

（概要）

（1）進級の要件

ア 授業科目の修得（単位の修得）の基準

未修得授業科目の累計が2科目以内であること。ただし、近畿大学九州短期大学通信教育部保育科の面接授業科目は適用しない。 イ 欠席日数（公欠を除く）が出席すべき日数の3分の1を超えていないこと。 ウ 特別な事情を除き学費を完納していること。 （2）卒業の要件 ア 所定の修業年限以上在籍していること。 イ 教育課程に定める必履修授業科目を全て修得（単位を修得）し、全課程を修了していること。連携している近畿大学九州短期大学通信教育部保育科の課程のうち本校指定科目を全て修得し、修了していること。 ウ 欠席日数（公欠を除く）が出席すべき日数の3分の1を超えていないこと。 エ 学費を完納していること。
学修支援等
（概要） ・入学前のガイダンスにて学校全体の説明。 ・入学後のオリエンテーションにて学科概要を説明。 ・就職支援部と協力した就職指導。 ・個別面談、保護者面談で学生の状況を把握。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14 人 (100%)	人 (%)	14 人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 保育所、認定子ども園、社会福祉施設			
（就職指導内容） 社会的マナーの習得・実践、言葉遣い、面接対応			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格 14 名、幼稚園教諭二種免許 14 名、社会福祉主事任用資格 14 名 社会福祉士受験資格（要実務経験 1 年）11 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32 人	4 人	12.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人ガイダンス、保護者面談		